

刻翻『芙蕖館日記』(四)

芙蕖館日記研究会

(表紙) 正月より二月末迄勘助執筆

寛政五癸丑歲

大日記全

芙蕖館

春正月吉祥日

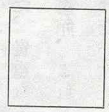
(表紙裏)

正月より二月末迄勘助懶惰ニ而一向書付不申候

正月

元日 雨後為微雪

外出年頭。大人始御在宿。式如前。



(貼紙ムシ)

二日

〔一〇〕

三日

(一ウ)三オ 白紙)

(三ウ 四オハ八月二十七)二十九日の日記なので、該当

日の所へ記載。綴じ違いカ)

(四ウ)十ウ 白紙)

三月

朔日 晴 南風暖和。宅講如例。大人稻葉世子御断来

ル。因而柳世子を御出被為在候。柳侯御留守ニ付世子御

讀書御座候。郡内嶋老反出ッ。夜五ッ時過御帰宅被成

候。家兄、京極世子御講釈過ヲ御出アリ。尤、廿八日之

代日也。七ッ時過御帰宅。其ヲ白銀台藤小太子様を御

出、一日御逗留。明ル朝六ッ時半頃御帰宅。勘助、白賁

檢見、帰路祥雲寺を寄、梅花乞帰ル。且掃除ヲ催促致シ

候。

二日 曇り且雨り且晴、此節天氣不定、多雨。今曉麻布
大隅山邊、茅屋一間出火。大人、京極世子御断被成候。

青木侯を御出。米津公子御出。夜四ッ時過御帰宅被為在

候。尤、青木侯月例講釈也。家兄、溝(ハシ)回權藏見ニ。御在

宅。勘助、孝經講釈如例。八ッ時、又藏殿方を参り、七

ッ時半過戻り。今朝、実詣鶯者被見、筑前侯、當月七日

御発駕ニ付送詩被致候を添削ヲ乞請被致候。餅(ハシ)ヲ(ハシ)

〔一〇〕

三日 曇、微雨、夕ハシ晴之方。

讀書休。式(ハシ)如例。

ハシ物(ハシ)饅(ハシ)外ニ吸物さより、鉢すし
観(ハシ)ふた連根(ハシ)くわい(ハシ)ゆり外(ハシ)ひ(ハシ)みな持合

子供御つれ御出被成候。元之助・勘助・十公同道ニ而尾

張町雜店を参り申候。七寸之兒人形(ハシ)ツ(ハシ)五分(ハシ)四人にて小

僧花(ハシ)□満(ハシ)ツ(ハシ)七(ハシ)分(ハシ)五分(ハシ)とをと(ハシ)のへ申候。外無事。

四日 曇入夜雨、帰路難波、夜八ッ時帰ル。

今日青山始而相始り申候。尤、當年は藝侯ニ而世子婚禮

有(ハシ)稻川宮 其外藝侯母弟木工之亟世子外継等之事ニ而甚御

取込故、今日ニ相成申候。今日も侯之方へ徂徠集わつか

一枚御講讀而已也。大人、元之助、服紗小袖麻上下、先方一人も礼服無之皆常服。尤公、世子のミ裏付上下。

五日 一雨夕が曇斗

素讀如例。大人(アキマ)

伊達侯を御出被遊候。是ハ龍土公

柳侯御出被遊候管之處
兩天故延引、大人斗御招也。

夜九ツ半過御帰り被成候。元之助

深川公子稽古如例。雨天故駕輿来ル。勘助(アキマ)

六日 曇晴元之助、稻垣世子断来ル。素讀如例。大人能登侯三日之御替り御出被遊候。然ル

處、柳侯急ニ伊達侯を出被遊(ウニ)迎人參申候處御留

守、夕七ツ過ニ龍土を御出被遊候。夜四ツ半過御帰り被

遊候。元之助、柳世子を參り申候。夫ハ奥殿如例稽古如常。勘助、

(アキマ) 今日も西良仲見へ申候。おこと殿不快故

也。

七日 曇夕七ツ半過、くれ前余程地震、正月が大也。朝世

素讀 大人、九鬼侯御断。本多侯を御出。夫を渡邊

侯を被為入候。深夜御帰被成候。元之助在宿。溝口等之

稽古有之候。勘助(アキマ)

八日 晴朝五ツ時少地しん、且、今晚七ツ時余程大地しん。

素讀。大人、つのはづ稲垣世子當年始而也服紗裏付上下也。夫を赤坂

公子如例。元之助、京極世子如例。夫を宿之稽古。勘助、

鶴世子如例。

九日 雨(アキマ) 青山延引、在宿。勘助のミ米津公子如例。

十日 晴(アキマ) 素讀。大人、奥殿を宇和少將侯被為入候。元之助、鶴世

子カ小幡世子を柳世子皆如常。勘助(アキマ)

十一日 講釈如常。大人、稻垣世子如例。外皆在宿。(オニ)

十二日 曇夕七ツ過が少雨、夜曇斗。當世素讀。大人、京極世子を柳世子斗米津世子を被為入候、

元之助、稻垣世子米ル本多參ル。勘助(アキマ)

十三日 朝少雨、夫を晴、昼前が快晴、大暖和也。素讀。大人鶴世子御断。米津世子を被為入候。元之助、

深川公子を加茂を參ル如例。勘助、小幡世子如常。

十四日 微雨昼々余程の雨、大寒冷。

素讀。大人、小幡世子如例。今日小幡を尼ヶ崎世子、石川主殿頭、松平左衛門被參候。元之

助、奥殿如例。帰後宿之稽古。勘助、京極世子、米津公

子如常。

十五日 晴朝寒冷、夕暖。

素讀。大人、深川公子断来ル。熊吉公子とのミ被為入

候。夜四ツ頃御帰宅。元之助、在宿。勘助、麴町竹内

用事ニ付参ル。今日すへ風呂たつ。

十六日 晴入夜曇斗、無雨、暖和也。

素讀。大人、元之助青山如例。上之會讀無之、落間藩中

而已、夜八ツ前帰ル。勘助在宿。良仲相見へ申候。」

十七日 晴暖也。今夕暮前よほと地しん、大分大也。

素讀。大人、今日始而松平大膳亮殿麻上下也を御出被遊候元本例

御迎駕籠并口一人来ル。元之助、長谷川断故

在宿。勘助、柳世子を参ル。牧田七九郎入門。扇子箱

持参。松平甲斐守家中也今日口兵衛帰ル。大人、夜九ツ少前御帰

宅。

十八日 終日雨。素讀。大人、九鬼侯九日之替りより赤坂公子を被為入、夜五

ツ半過御帰宅。元之助、京極世子如例七ツ時帰。勘助、鶴世

子断来ル。是ハ今日御能有之故延引也。外無事。

今日赤坂にて之咄ニ最上柿ヲすり候て、酔ニ而ねり申候

てたくはへ置申、病犬、病鼠、毒虫等ニ逢申候節付申候

へは早速愈へ申候由、又、本町ニしんによ散と申骨抜御

座候。口中之骨ニてもからだにたち申候ほねニても忽に

抜申候事至而奇妙之由咄有之。

十九日 朝曇 時々少微雨夕々大晴

青山如例。夜七ツ時帰ル。今日塚本同道にて元之助、新

岩寺仙壽院を参ル。外無事。良仲薬五貼取ニ来ル。勘

助、米津公子如例。

二十日 快晴暖

素讀如例。大人、山崎侯を奥殿、宇和侯如例。夜アセ時

御帰り。元之助、小幡世子、鶴世子如例。暮六ツ半頃

婦ル。勘助、柳世子の参ル。序ニ良仲の寄り申候。又、

菓五貼来ル。

廿一日 晴南風甚暖、復衣ニてよし。夕の曇、入夜雨也。

詩會如例。今日、内藤當年始也。刷事利藩在中。、松下庄助始而也。、小田原侯来ル。

内藤、酒持参、松下、箱根細工烟草入一ツ、紫蘇之梅持

参、麓谷山人、當年始故砂糖一曲持参。夜六ツ半頃過

濟。稻垣の明廿二日断元之助方の来ル。

廿二日 朝微雨、夫の曇斗。良仲見ニ、煎菓五貼調劑。

素讀如例。勘助在宿。松平甲斐守殿藩中、牧田七九郎と

申者此間入門、今日始の来ル。外無事。今日、舞岡吉右

衛門様、おとめ殿同道ニ而御出被成候。手製木綿一反且産物也。

廿三日 曇

素讀如例。大人、青木源五郎殿の字和少將為被成候ニ付

昼頃の御出被成、夜の御帰リ。御大酔也。元之助、

柳川公子迎人不参故不参。昼後の加茂数右ニ門方の

(ウ十三)参リ申候。夜六ツ半頃始。勘助、小幡世子如例。(アキ)

舞岡之御客、大母君と同道ニ而神明より愛右の御出被遊

候。

廿四日 朝の曇微雨終日終夜微雨

青山如例。夜九ツ半過帰ル。今日、落間詩経講釈、元

之助相しまひ申候。從此ハ論語集注之意ニ而来月四日の

相始申候。尤、疾、世子御二人共御勝手次第御聞被

成候由。夫ニ付座序如左。(アキ)落間、西ニ床有之、右

床之下北之方の疾、世子座。東嚮落間、次之間之間

之襖大方取拂ハ尤疾ノ坐ノ左側斗残ス、講者次之間、敷居之側ニ西向(ウ)

講ス。尤、敷居半の少下也。聽聞者次之間西北東の環

坐而聞。(アキ)勘助、京極世子より米津公子如例。舞岡

之二客雨天故留宿。

廿五日 朝曇昼前の晴南風甚暖氣也。

素讀如例。大人今日奥殿疾の本多疾、尼ヶ崎世子、西臯

世子、石川世子會講ニ御招故、大人も御出被成候。右故

當日急約之御方、深川熊吉様御断也。夜六ツ半過御帰

宅。元之助在宿。勘助(アキ) 舞岡之二客大つかへ御

出被成候。外無事。

廿六日 雨朝甚暖、復衣ニてよし、昼頃オ寒シ。(十四)

素讀如例。大人淺草諏訪町ヲ御約束之所御迎不參故不被為入候。御在宿。元之助、奥殿如例。尤、一本松ハ御産有

之由、廿四日ニ茂右ニ門ト申人ヲ為知手紙来ル。

且、昨日兵策ヲ今日断手紙来ル。夫ニ而も暮頃帰ル。勘

助、今日良仲見ヘ申候。薬五貼、粉薬ヲ貼調劑、是

ハ久平の也。今朝薬取ニ遣ス。七貼来ル。外無事。

廿七日 曇雨終夜雨

素讀如例。大人、九鬼侯ヲ被為入候。且、御帰上青木侯ヲ

元之助同道ニて詩會御出可被成候由被仰遣候所、侯不快

之由ニて御断之返事也。元之助在宿。勘助ヲ今日

日より一本松下海津俊益并ニ給而三貼調劑。

廿八日 雨

讀書如例。大人、下谷石川宗十郎様ヲ御出被成候本多暮

六ツ半頃御帰宅。元之助、稻垣世子ヲ大人之御名代可被

參管之所断来ル故、京極世子而已如例。夫ヲ一本松山崎

廿二日男子出産之為知来ル故、石川兵策迄祝ニ罷越申

候。昼七ツ過罷帰。勘助、西臯世子断来ル。(十四)

廿九日 雨夜遠火二度。下谷石川宗十郎様ヲ御出被成候本多暮

讀書休。大人、奥殿ヲ赤坂公子如例。夜八ツ過御帰宅。

元之助、小幡世子ヲ西臯世子如例。暮六過帰ル。勘助、

米津世子如例。今日、海津ヲ薬取ニ遣ス。三貼来ル。外

無事。

四月

朔日 雨甚寒シ、昼後より大ニ曇、折節微雨。

御講积如例。大人、龍土伊達侯ヲ御出被遊候。夜ヲ

時御帰宅。元之助在宿。海津俊益、西良仲来ル。尤、今

朝海津ヲ薬取ニ遣ス。薬三貼来ル。今日、舞岡之二客大

つかより被戻申候。

二日 曇朝欲雨、昼後ヲ晴レ得共、快晴ニてハなし。

素讀如例。大人、明三日、西臯西子之定日之所、白杵世

子ヲ御咄御出可被成御約故、今日ニ御取替被成候所、

又ニ御断来ル。則、京極世子ヲ米津世子如例。夜四ツ時

分御帰宅。元之助、つのはつ稲垣世子を参り申候。本多断ル。勘助在宿。晝之稽古ニ参ル。外無事。」(十五)

三日 朝曇、昼前も大ニ晴。御出立。大人、御出立素讀如例。大人、白杵世子如例。尤今日ハ為稽古御咄ヲ御聞被成度由ニ付て也。昼前、岩村侯を被為入、夕七ツ頃も稲葉世子を被為入候。夜九ツ前、四ツ半時御帰宅。

元之助、深川迎不参故、勘助同道ニテ柳世子當月朔日御乗出有之候故、右之御祝ニ参リ申候。夫も加茂を参ル。暮過帰ル。勘助ハ夫も小幡世子を参リ申候。今日、舞岡之二客帰郷也。贈物如此。

四日 終日曇、暮過も雨、入夜大雨、風有。青山如例。今日より落間、論語始ル。大人被遊候。尤、侯、世子御両所御出座被成候。梶川延引也。夜四ツ半時罷帰ル。雨ニテ難渋。勘助、小津世子如例。

五日 曇、雨。素讀如例。大人、深川も八丁堀如例。入夜早ク御帰宅。元之助在宿。勘助在宿。外無事。

六日 曇、昼過も雨。素讀如例。大人、淺早諏訪町如例。外無事。元之助、奥殿如例。七ツ過（ア）申候。(十五)勘助在宿。外無事。白杵

七日 時曇時晴。素讀如常。大人、本多侯も赤井喜六此節出府を始而御出被遊候。元之助、長谷川延引申来ル故在宿致申候。勘助在宿。

八日 雨昼後八ツ過も曇斗、時晴。素讀如例。大人、稲垣世子も赤坂公子を被為入候。夜八ツ過御帰宅。元之助、京極世子如例。勘助、鶴世子如例。外無事。今日もかやつり申候。

九日 朝も曇、昼後も晴。青山如例。夜八ツ時帰ル。尤、公之會讀無之、且又、今日塚本七右衛門申候、元之助儀、以来共藩中之面々を罷越申候節、稽古差問手透之節ハ公之會讀ニモ罷出可申候段可申通旨申聞候。尤、長谷川織衛も右御承知被成候哉之段申聞候。勘助、米津世子如例。海津俊益相見へ申

候。日

十日 快晴。

素讀如例、大人、奥殿登城○今日山崎延引否共沙汰なしニ付延引申来ル故、昨九日

龍ノ口細川侯御着、右(十六)御祝ニ御出被遊候。夫ヲ能

登疾ハ祝儀ニ、且又、九鬼侯着之悦ニ御出被遊候尤、能登

弟能藏公子、七日、林大字頭殿家督養子被仰付候為知来ル故右之祝ひ也夫ヲ御帰宅。龍土豫少將ハ被為

入候。夜八ッ過御帰宅。元之助、小幡世子ハ西臯世子如

例。暮六ッ過罷帰。今日、鶴侯ニ而三七葉ト申接骨葉、

打身ニも妙之由ニ而自分足之くじき有之由、吉右エ門、

定右エ門等世話致し御薬方ハ申、少々もらひ申候。直ニ

そこニ而付申候。いかさま余程奇薬ト覚申候。勘助在

宿。日

十一日 快晴 暖

御講釈如例。大人始兩人共在宿。宿之稽古仕候。久兵衛藥、良仲様ハ昨日、取ニ遣申候。

尤大人、白杵尤大人、白杵今日始而葛子魚ウツキイシニ而相調申候。

十二日 雨微雨也、夕ヲ大ニ曇而已。夜半ハ多クふる。

素讀如常。大人、京極世子如例。夫ハ青木侯如例。元之

翻 刻『芙蓉館日記』(四)

助、稻垣世子断。本多ハも不参。今日始而青木侯御詩會

ニ大人御同道ニ而参ル。尤、以後ハ詩會、講釈等名代之

為也。勘助在宿。原宿藤藏殿見ユ。留宿留宿 胡麻一袋 申上テ

十三日 雨暮頃迄大風雨、有風。 (十六)

素讀如例。大人、小幡世子明十四日之より鶴世子如例。夜

五ッ少前御帰宅。元之助、龍土ハ参ル。是ハ今日宇和

世子御着府故右之悦ハニ参ル。尤、此間席も無之故罷出

申ニ不及段申来り候故、昼九ッ半過ニ参ル。川崎泊之由

也。四ッ半頃御着第之由也。勘助、渡邊老侯之方ハ大人

御名代弔ニ参。是ハ先月廿三日當主御不幸之由。右之

弔也。夫より本多千五郎方ハ序故頼ハ候而、元之助、替

りニ参り申候。原宿藤藏殿、今朝被立申候。松平能登侯

ハ熊藏公子、今日林家ハ御養子、御引移之段、為知申来

候。日

十四日 晴 暖

素讀如例。大人、堀侯如例、且、今日芝崎多仲為今日溝

口権藏是又為申合。多仲書經也。會讀濟、帰国致候故、酒

廿三日 雨

讀書如例。大人、岩村侯より西臯世子如例。暮六ツ半頃前御帰宅。元之助、深川如例。暮頃ニ帰ル。勘助(アキマ)

廿四日 曇晴

素讀如常休。大人、元之助共青山如例。夜八ツ時帰ル。尤、落間講釈大人被遊候。勘助(アキマ)」
(オハ)

廿五日 雨

素讀如例。大人、深川ノ松平熊吉様ニ御出被成候。元之助在宿。勘助(アキマ)

廿六日

讀書如例。大人、諏訪町ノ御断来ル。明七日長谷川ニ餘り暫御出無之故、今日ニ御繰替御出被成候。元之助、奥殿延引故在宿。勘助(アキマ)

廿七日 曇、夕ノ雨。

御素讀如例。旦那様、本多伊豫守様ノ渡邊中務少輔様ニ御出被遊、夜分七ツ過御帰宅被遊候。元之助様、加茂

数右衛門殿ニ御出可被成処、雨天御延引。勘助様、(アキマ)

廿八日

御讀書如例。旦那様、松平左之丞様如御例。夜九ツ時御帰宅被遊候。元之助様、京極内膳様如例。昼七ツ前御帰リ。勘助様、松平左衛門尉様如例。」
(ウハ)

廿九日 夕ノ小雨

青山如例。落間、今日元之助講釈仕候、久兵衛病氣故代倩人致シ参ル。夜四ツ半頃帰ル。勘助(アキマ)
晦日 曇且時々微雨、夕ノ雨斗。今日ノ入梅。

讀書如例。大人、宇和世子ノ差懸り御招キ故、夕七ツ時より御出。夜九ツ前御帰宅。以来十日、廿日、晦日、杜律講釈之事御約束被成候。代一度ツ、元之助参ル。元之助、柳世子ノ小幡世子、西臯世子如例。勘助(アキマ)

小五月

朔日 曇

御講釈如例。大人、白杵世子如例。夜四ツ時御帰宅。元

之助在宿。勘助、木挽丁柳世子が先達而御乗出ニ付此方

看上ケ申候。右之相撻ニ看来ル。此看米津藩、大崎七郎右エ門
年寄之、上席に立身致故遣ス

二日 曇入夜雨

はら、すゝき、こい

御素讀如例。旦那様、遠山良介會葬ニ御出被遊候。孟玉

昨日病死之儀申来候。(アキマ)日病死之由、寺ハ藪下柳沢

寺法名年六十二 (アキマ)夫が京極世子様、米津播磨守様御

出被遊候。元之助様つのはづ稲垣(十九)對馬守様御延引

故、本多も替日被成、御出不被成候。勘助様(アキマ)

三日 雨

御讀書如例。旦那様、岩村様が左衛門尉様を被為入候如

例。暮六ツ御帰宅。元之助様、深川の御出之筈、駕輿迄

参リ申候所、少頭痛等被致候故、断申遣ス。雨天故加茂

も不参候。勘助様、松平正五郎殿が松平熊吉殿を御出

被成候。尤今日始而ノ御出也。暮六ツ過被帰候。此節海

津老、日々被見舞申候。

四日 雨

元之助も参ル青山如例。今日、落間、大人御講釈。夜五ツ半時帰ル。

尤、夕方、侯之會徃徃集無之、梶洞庭も断也。久兵衛

未病氣故情人ニテ参ル。勘助、京極世子、米津公子如

例。海津被見舞候。粉薬一服被参申候。今日、加藤右源

次弟、林定五郎同道ニテ参ル。郷産大人を水滴せと物一ツ

持参。予、勘助へ巻紙百枚、扇子二本。定五郎、大人を

始而故三本入扇子箱、銀子壱封持参也。外無事。

五日 晴佳郎(十九)

端午之霍祝如例。三人共在宿。今日、西良仲老見へ申

候。竹内長藏が看来ル。さす、せいこ、外無事。

六日 曇晴

素讀如例。大人、諏訪町を被為入候。夫が米津侯を御出

被遊候。元之助、奥殿如例。勘助在宿。

七日 微雨

素讀如例。大人、木幡御断。明日之替り赤坂を被為入、

夫が渡邊老侯を被為入、翼曉六ツ時御帰宅。元之助在

宿。長谷川公が断来ル。勘助在宿。尤、白賁を筍子見分

ニ参ル。

八日 晴少曇

讀書如常。大人、昨日小幡之處延引。今日、石川侯ニ而
催之所、是又本多ヲ断来ル。右故御在宿。元之助、京極
世子如例。勘助、西皇世子如例。

九日 晴夜曇

素讀休。大人、元之助、青山如例。落間、大人御講釈。
夕之徂徠集之御會、公、築地^の御出ニ付御延引。世子、
落間、御出席無之、梶川洞庭も延引。大人、塚本^の」
(二十)御出被遊候。稲野^の五ッ過御帰り。宿元^の八ッ半時
御帰宅。勘助、米津如例。今日東海寺^の佛参ニ参ル。夫
^の白銀^を参ル。

十日 曇夕八ッ半過夕立、雷鳴。

素讀如例。大人、山崎^の奥殿。夫^の宇和世子如例。夜九
ッ時御帰宅。元之助、小幡世子^の西皇世子如例。暮六過
帰ル。勘助在宿。

十一日 晴

御講釈如例。夕^の白杵^を被為入、米津^は不為入候。夜
五ッ時御帰宅。元之助在宿。勘助在宿。

十二日 雨

素讀如例。大人、京極世子^の米津^{御在宿}^の御出之積り之所、米
津^を雨故御出無之候。元之助、つのはつ稲垣夕方断来
ル。雨故本多^を不参在宿。勘助在宿。

十三日 雨

素讀如例。大人、石川主殿頭殿^を被為入候。暮六ッ過御
帰宅。元之助、深川駕籠参ル。夫^の加茂^を参り申候。夜
四ッ時帰ル。勘助、小幡世子^の松平熊吉様^の柳世子如
例、如^例」 (二十)

十四日 晴不堪暑

素讀如例。大人、九鬼侯^の淺草諏訪町如例。夜四ッ時御
帰宅。九鬼侯ハ當年御参府後始^而也。膳ニ臈、杯つく。
元之助、奥殿如例。夕七ッ時帰ル。勘助、京極世子^の米
津世子^の参ル。暮六ッ過罷帰ル。今日熊吉様^の明日御登城後廻動ニ
付七ッ半頃御出可被下申来ル。

十五日 晴少曇

素讀如例。大人、深川御断来ル。米津世子（ツキマシ） 元之

助、在宿。勘助在宿。海津老見へ申候。

十六日 雨

讀書休。大人、元之助、青山如例。落間、元之助講釈。

夕御會徂徠集之處、堀侯（ウラ）、世子共御出故御延引。大人、大野木氏（オホノキ）の御出被成候所、兼て堀侯之節之由承ル。

侯之方（ウラ）野間伊兵衛方（ノノ）足輕参り、大人（ウラ）の御出可成由、駕輿杯（ウラ）ニテハ遅クニ相成申候間歩行ニテ御出可被下由也。夫（ウラ）堀（ウラ）被為入、曉八ッ時御帰宅。元之助、夜五ッ

時ニ罷帰ル。勘助、米津世子如例。

十七日 曇晴

素讀如例。大人、小幡輪會（ウラ）渡邊老侯如例。翼曉六過時

御帰宅。元之助（ニナシ）在宿。長谷川延引申来ル。勘助

在宿。

十八日 曇

素讀如例。大人、稻垣世子断来ル。赤坂公子如例。夜九

ッ半時過御帰宅。元之助。京極世子如例。勘助、西臯世

子如例。

十九日 時晴時曇

青山如例。落間、大人御講釈。里仁篇濟ム。元之助、

夕方、徂徠集御會ニ罷出申候。洞庭無之、夜九ッ過罷

帰ル。勘助、米津世子断来ル。

廿日 朝少雨り夕（ウラ）晴

素讀如例。大人、山崎侯（ウラ）と奥殿、宇和世子如例。夜四ッ

時御帰宅。元之助、小幡（ウラ）と西臯世子如例。勘助、岡村百

々之助方（ウラ）の詩會ニ参ル。

廿一日 晴

讀書如例。大人、三人共在宿。講釈如例。詩會如例。参

集十七、八人程、大野木氏之主人。席上、（五言律七絶）繼後的々帆向

浦。宿題、送人帰白雲山草庵各體也（入用）三十八文。外無事。

廿二日 曇（二十）

讀書如例。大人、京極世子（ウラ）と白杵世子如例。米津も御出

被遊候。元之助、稻垣世子断来ル故、本多斗（ウラ）の参ル處、

是又急ニ直ニ出無之直ニ帰ル。勘助、又初晝（ツキマシ）。外

無事。

廿三日 曇

素讀如例。大人、小幡侯ハ鶴洲侯御出ニ付大人御頼ミ故被為入候。夜五ツ時頃御帰宅。尤、岩村侯ハ御延引申来ル。鶴世子も先方ハ御延引申来ル。元之助、深川公子断来ル。加茂数右エ門ハ参。暮頃帰ル。勘助、小幡右故断リ、八丁堀ハ柳世子ハ参ル。柳世子断也。

廿四日 雨

青山如例。落間、元之助講积仕候。公治長首章ハ道不行章迄也。尤、侯、青松寺御参詣。御帰後謹書。御會可有之由故、元之助も外ヲ仕まい謹書ニ罷出申候。夜六ツ過ハ始リ、九ツ時相濟。翼曉六ツ時帰ル。勘助、米津世子如例。尤、京極ハも参リ申候。

廿五日

雨〇白貴ハ竹の子小細四本、中三本、万歳持参。
〇今日龍土字和ハ廿九日□申来ル故元之助参ル事ニ申遣ス。

讀書稽古如例。大人、深川八丁堀米津世子如例。夜四ツ時前御帰宅。元之助〔二十〕在宿。勘助、青山大野木、

塚本氏ハ参リ申候。西良仲相見ハ申候。

廿六日 雨

讀書如例。大人、尼ヶ崎輪會ニテ御出被遊候。夜五半時御帰宅。元之助、奥殿如例。勘助在宿。尤、大人今日浅草之定日断来。

廿七日 時曇時晴。湿暑不堪。夜半雨。

夜九ツ時高輪上手町余程火事。

讀書如例。大人、元之助兩人、山崎主税助殿ハ木下主殿頭殿、久留嶋出雲守殿并ニ青木縫之介殿被参ニ付、此方も参ル。尤奥殿懇意之者ニ而無之時は相成兼候故、達而申来故参ル。夕七ツ時ハ夜八ツ時帰ル。勘助、夕七ツ時ハ長谷川君ハ参ル。夜四ツ時帰。

廿八日 陰晴辱暑不堪。六月□清見坂邊少火。

讀書如例。大人、赤坂斗。鳥羽世子断来ル。夜四ツ半過頃御帰宅。元之助、京極世子如例。勘助、西臯世子如例。

廿九日 晴、暑甚不堪、好天暑也。

讀書如例。大人、岩村代日ニ被為入、夫ハ御帰、奥殿ハ

被為入候。元之助、宇和世子と參ル如例。尤、大暑ニ付冷麵出、且夕、想桜樓ニ而倍宴。夜四ツ少前カ帰ル。勘助、米津世子如例。原宿七右ニ門殿、つや家作御返シ一件ニ付被參、其咄此節甘繩氏康之城部国（三十一）之由也。

六月 建己未

朔日壬戌 晴、暑甚不堪。

御講釈如例。大人、講後夕と杵臼と御出也。元之助、昨廿九日、晦日之替り今日西臯世子と參ル、勘助在宿。原宿七右ニ門殿、昼少之間外と被參、夫と掃投。熊野社、今日と祭礼始ル。曙方渡神輿。獅子添。

二日 癸亥 朝五ツ時頃と晴、昼夜暑甚。勘助、本多千五郎へ元之助替り頼ミ遣ス。

讀書如例。大人、鳥居坂迎延引。四ツ半頃參故、送別之諸侯有之ニ付御断被仰遣候。米津公子と御出也。夫と久留嶋侯と被為入候。元之助、勘兩人參。暑甚故麻上下断申来ル故、大人はつき上下、元之助、勘助ハ袴羽織斗

也。尤、久留嶋侯參勤後始而也。酒も不過膳ハ次ニ而

出。二ノ膳焼部ニ而吸物又酒、夫と茶菓子不殘同様也。

今日、堺泉州被携由、沖生酢と言物出。味不變、甚生酢ニ而

魚肉其外金橘養活等製したるものなり、又ほう五郎と言

大鳥之玉子、かけ花生ニしたるを見る。大サ亘り金尺

ニ而一尺程、長サ七八寸程、形如鶏卵。黄色、黒キ小点

アリ。夜九ツ前帰ル。

三日 甲申 暑甚、夜蒸暑不堪、尤晴（三十一）

讀書如例。大人、岩村侯と鶴世子如例。夜五ツ半過御帰

宅。元之助、深川と加茂と參。途中暑氣ニ不堪。勘助、

小幡世子と熊吉公子と參り申候。

四日 乙丑 朝少雨、好大南風、昼と快晴、夜も酷暑勘助、米津公

子如例。尤今日と大人、御名代詩経選致申候。

大人、今日青山と可被為入處、今朝と急ニ御痔疾ニ而起

坐御不自由故、元之助斗參ル。落間有之候。尤、今日惣

出仕ニ而登（つ）城有之候（是ハ尾州と淑姫君と御納菜之御祝儀故也。）世子は夫と

落間へ不被出、侯ハ頭痛氣ニ而登城も無之故、落間も

子ニ森侯シノ□□候故用繁シトテ断来ル。且加□引越ニ付

今日杯は輕キ料理ニ而も差上、御酒一ツ御すゝめ可申候

由、君子被申付候所残念之由申来ル。夫ハ麻田ハ被仰遣

御出被成候。元之助臥床故、今日京極世子断遣ス、勘助、

鶴世子如例。今日太母君御帰也。是ハ昨日白銀ハ御出被

成候而夫ハ今日御正月忌日故、東海寺ハ御参詣也。青

山、薬、海洋ハ頼、薬来ル。且見舞。追書故、今日や、日ハ忘れたり、今日でハなし。

九日 庚午 晴

讀書休。大人、青山如例。落間、論語講釈、公治長篇季

文子三思之章迄濟申候。其次章ハ此後始ル也。夕會ハ先

日徂徠集之所今日も御故障延引故、此後始ル所は徂徠

集なるへし。徂徠集ハ七律辛卯新正雞鳴攪帶之詩ハはし

まる也。新刻本ハ次卷ハかゝるへし。側頭中ハ申出候

は、最早暑氣も甚敷相成候故、會讀等今日迄ニ而先延引

可被致由。且、始り候節は從是可申延由申出候、考之所

當年は例年ハ少はやく大方十五日赤坂公子引移り、十六

日嘉祥登テ城等、十五日之賀杯引続キ取込故と被見候。

元之助、今日は臥床、不参。勘助、米津公子如例尤梶川
如例外、今日暑中休ミ之事被仰候。青山逗留、今日帰ル。

十日 辛未 晴 大暑、夕涼シ。(四十)

讀書如例。大人、宇和世子、一本松両方断来ル。元之助

臥床。勘助在宿。□外無事。尤、元之助、小幡西皇世

子断ル。大人、奥殿如例。

十一日 壬申 晴 夕ハ微雨

御講釈如例。夕ハ大人白杵ハ被為入候。元之助臥床。勘

助在宿。

十二日 癸酉 晴 暑色

讀書如例。大人、朝、鳥居坂如例。夫ハ夕、田町如例。

米公子ハ勘助名代。

十三日 甲戌 晴 暑

讀書如例。大人、赤坂公子ハ御晦乞ニ被為入候。御逢被

成候而御酒出吸物ツ。夫ハ鶴世子如例。元之助、少ツ、快氣

ニ趣キ申候。勘助、小幡ハ八丁堀如例。柳世子にも参ル。

十四日 乙亥 早朝涼氣。昼ハ暑氣。

讀書如例。大人小幡世子如例。浅草断来故、夫ヲ世柳子ト被為入候。元之助宜キ方也。勘助、鳥居坂ヲ米津公子如例。

十五日 丙子 此節朝涼 昼ノ暑

讀書如例。大人、御えりニ吹出物出、深川八丁堀、米津公子断被成候。元之助、不快。〔五十一〕勘助、大野木ト参ル。今日迄ニ而来月中断り申候。赤坂公子、今日森侯ト引移。

十六日 丁丑 此節朝涼、昼暑。少ツ、陰、夜晴。

讀書休。大人御始皆ニ在宿。

十七日 戊寅 涼氣夜半ノ雨、曉ノ風雨。

讀書如例。青山、堀大和守殿并ニ右兵衛尉殿被参ニ付大人御えりノ出来物故、〔五十二〕此間、元之助ニ可参由側頭ト

申来ル所、臥床之躰故様子次第ト申而先承知之由申遣ス。尤、余程前故早速断ト不相成故也。然ル所、十五日ニ勘助、大野木ヘ参ル故元之助断申遣候。大人力□而御出可被成由、断ト御出可被成由ト大人ト側頭迄被仰遣

候。承知之由申来ル。今日四ツ時迄ニ青山ヘ御出被成候。尤、本多侯別筵講之所、輪人二世子欠ケ故延引ニ成、夫故御出被成候。尤、御出来物最中也。堀老侯ハ差懸り御断。三井弥四郎ト参ル。今日ト元之助引返シ以之外咽痛腫、朝食不通。

十八日 己卯 東南風雨甚未止、昼時分風正北ニ而雨少シ、夕晴南風。

讀書如例。大人、鳥羽世子ト御断被遣候。伯太老侯ト昨日之所今日ニ替テ、〔五十三〕遣候所断来ル。尤、大人、御吹出物故此方ト所ニ御断被遣候。唐津侯七日、笠間侯十一日着。勘助〔五十四〕風邪ニ付鶴世子御出ニ不及由申来ル。

十九日 庚辰 朝涼氣

讀書休。御在宿。勘助、米津公子如例。元之助、咽喉腫物痛外邊ト、〔五十五〕麻痛便血、寒熱往来、朝食不通ニ而海津ト申遣。昨日可申遣所、風雨故不申遣候。今日、奥殿ト大人、元之助兩人ト酒等御ヲふるまひ可被成由申来ル所、大人も御吹出物故御断也。尤、月未始而入都故也。

廿日 辛巳

讀書如例。大人、宇和世子、奥殿、昨日御断被仰遣候。

是ハ御吹出物ニ付而也。□^(ハシ)瀧ノ口小幡断り申候。以後

不快中、所々皆是ハ勘助稽古之節断遣ス。今夕、大人、

勘助、一本松留別會ニ被為入候。予ハ如昨日故不參。大

人御始つき上下。吸物、酒、生酢^{付膳}、焼物、蒸菓子

出。昨日より也
海津見舞今日始而一粟式貼
もろひ申候。外ニ丸薬添。

廿一日 壬午 涼氣之方

御講釈御延引。今日詩會如例年。少林院ニ而相催申候。

例年今井谷主人之所、連も不揃等之由ニ而断也。此方ヲ右
問合

故此方ニ而主人酒三升、重之物携三重組之硯ふたニきかけ一
重ハ同ニ硯ふた物

〔六十〕黒手大重箱二重二重ハ精近のすし酒不足、又一升とムの

へ申候由、人ハ十六七人也。院主ハ冷麵、豆腐之うばの

吸物出し申候。白金ハ参詣(アキ)

廿二日 癸未 昼迄細雨 夫ハ晴陰相雜蒸暑

讀書如例。大人御水瀉。烏居坂、今日御出被下るムヤ、

御出来物如何ト聞合ニ来ル故御断被成候。米津公子ハ十

九日参節御断也。趣也。夕方臼杵ハ被為入候。今日も元富五郎申来ル

之助同様故、口中吹込傳葉良仲ハ申遣ス、夕方見舞可申

候。其上ニ而ト申来ル。夕方見舞、管ニ而吹込葉一貼合せ

置。

廿三日 甲申 陰 涼氣

讀書如例。大、神戸侯ハ被為入候。尤、今日朝廷ニ而催治橋岩村侯ハ御断被仰遣候

世子之定日ヲ留別會ニ御も□^(ハシ)被成候由申来故御出被

遊候。西臯世子ハ不參也。料理如常。連衆之御方□^(ハシ)紙上

下也。勘助、小幡ハ八丁堀如常。元之助、咽痛少斗ハよ

し。海津丸薬(ハシ)
三十五粒ツ、□(ハシ)

廿四日 乙酉 陰晴

讀書休。大人、奥殿侯ハ留別會ニ被為入候。紙上下也。大人

吸物、酒出。膳如常。□^(ハシ)〔二十〕若君様御逝去。孝順ハ御事也

日迄鳴物停止。普五日之間也。勘助、米□^(ハシ)如例。此

間、元之助見舞、鶴世子ハ寒晒一重。喜須干物一籠十一小来

ル。□^(ハシ)

廿五日 丙戌

讀書如例。大人、深川ハ被為入候。七月廿日迄御断被成候。元之助同様。勘助、ねふ(ハシ)と類疔出来。今日天

顯寺ハ可罷處断遣ス是八十歳王ハ旨坊主ハ類ハ故參ハ約也ハ深川ニ而之咄、此節本

所千両橋之掛直シニ大工夫ニ而柱なしニ橋出来申候

由、朝廷ハ被仰付候而弥出来申候由也。夜九ツ時、まみ

穴戸沢裏門前出火大騒キ也。早クしめる。今日雀世子ハ

使来ル。其趣キハ明日水野出羽守殿と小石川傳通院ハ被

參候ニ付元之助、勘助兩人之中參リ可申候由。尤、傳通

院も左様致度由也。然ル所兩人不快故、大人御出可被成

由御返事被遣候。今日迄俊益葉、元之助十二貼貰ひ申

候。

廿六日 丁亥 朝ハ雨 漸ニ北東風 大風雨

讀書如例。大人少シ御風氣御在宿也。淺草ハ風雨故御迎

不来。霞ケ関ハ兼而断来ル。元之助少シ咽痛よし。勘助

在宿。海津、葉二貼来。此節一服ツ、来ル、
葉一貼也

廿七日 戊子 今朝猶頻ニ雨 蒸暑 昼前ハ晴ヲ催 時々

風雨夜 夜
(七十)

讀書如例。大人、岩村侯代日御出被成處、朝廷御遠慮中

とて断来ル。堀老侯世説御約束之所、侯發駕前且不快之

由断来ル。長谷川ハ大人御風氣、其上時々風雨故、勘助

も足之腫物ニ而断被仰遣候。鳥羽世子ハ明日定日御断申

来ル。

廿八日 己丑 快晴 昼過陰 蒸暑不堪

讀書如例。大人、渡邊老侯ハ御出。序ニ赤井喜六方ハ見

舞ニ御出。赤井も腫物相煩ひ申候由。未暫逗留之由。元

之助同様。勘助快方。鶴世子ハ參ル如例。舞岡之吉右衛

門殿被見申候。

廿九日 庚寅 陰 蒸暑甚 夜中雨

讀書休。大人御在宿。元之助不快同様。咽痛大分宜シ。

勘助、米津公子如例。吉右エ門殿、今日大林殿ハ被參

候。

晦日 辛卯 雨天氣八九月此節大方此様也。

讀書如例。今日迄ニ而例年之虫干ニ付休ミ。八月朔日ハ

篇。勘助在宿。今日孝順院様 (ムシ) 筋ハ御奥之御

門より桜田上松毛利之間松平美濃 (ムシ) (七ウ)

御門より秋田侯間御通棺ニて通り町々出、増上寺表門也。

朔日壬辰 七月 建康申

御講釈如例。今日ニ而例年之通り八月十一日迄御休、

八月 十一日始り申候。杜律ハ (ムシ) 左傳は宣公十三年始り申候、大人、御風氣悪惑等ニ而臼杵御断被遣候。

(ムシ) 勘助在宿。小幡世子并岩吉殿、(初之) 助殿ヲ元之

助見舞ニあゆなめみそ漬一重、喜須魚之生干一重十一来ル。吉右エ門殿被帰候。投宿。

二日 癸巳 陰雨止 又少雨ニ而蒸暑 夕々余程□夜中晩

方大雨

大人、鳥居坂ヲ御断申来ル。御風氣故米津公子ニ不被為

入候。御名代勘助參 (ムシ) 元之助、逐日快シ。未臥床。

吉右エ門殿不快。中暑ニ而逗留。

三日 申午 風雨蒸暑、夕止、陰斗、原宿七右エ門殿逗留。つや事ニ付而也。此間被出候也。

大人、岩村侯ヲ鶴世子ニ被為入候。元之助同様。勘

助、小幡ヲ八丁堀如例。兎角類疔未とくとなし。今日、鶴洲侯、小納戸(ナシ)ヘ鯛すゝき之鮮一重三人ヘ遣ス。

三人ヘ左の通り、梅沢文平、堀口見兵衛、(ムシ) 弥左エ門也。同、同様之鮮一重世子側頭共ヘ

三人、畑田長(ムシ)、今井平馬、藤野吉右エ門三人也。

四日 乙未 晴暑色甚シ。」 (八ウ)

大人、麻田侯ニ御出也。元之助、逐日快シ。勘助、米津公子断遣ス。(ムシ) 物ニ付而也。原宿七右エ門殿、つや事ニ付而

此節被出候所、昨日地頭ヘ願出認貰い今日持參。夫ヲ守

田川町ニ參り被申候不見。晦乞ハ少々有り。

五日 丙申 陰雨時止時晴

大人、九鬼侯ニ被為入候。今日ニ而七月中御休ニ被仰

候。元之助同様、勘助、柳世子ニ參ル。来ル七日、法寿院様五十回忌ニ而御法事有之故、牡丹餅出来申候。

六日 丁酉 陰蒸夜半々大雨 大人、米津公子ニ御出、盆前

御断被遊候。

大人御在宿。淺草^ヲ諏訪町。明日惣出仕ニ付断来ル。元之助、同様之中大分宜方也。勘助在宿。

七日 戊戌 大風雨 北東之風也 終日

此節十公脱肛ニ而臥床

七夕之祝詞如例。外無事。今日涼氣。冷麵ヲ不用候而宜方也。

八日 己亥 大風 雨昨日^ヲ終日 夜又々風東南^ニまわり

申候 時雨 雨ハ少也 夜晴

大人、つのはづ^{鳥世子也}ニ被為入候。七ツ過御帰宅。元之助同様之中逐日快ッ。勘助又々左足ニ類疔出来。引込申候。」

(二十)

九日 庚子 快晴月夜如八月十五夜。

大人御在宿。元之助同様。勘助同前。此節大人先月^ヲ

御^{ハムシ}物未御快氣無之、良仲^ニ膏葉御貰ひ被成候。

十日 辛丑 陰雨ハ少ツ、時々ふる、夜も同し。

大人御在宿。元之助日^ニ快方也。勘助快キ方也。今日

青山^ノ人遣申候。塚本^ノ御^{ハムシ}御贈被遊候。尤是ハ先達而約束故也。 稻

刻翻『芙蓉館日記』(四)

野^ノ紙取ニ遣ス。諸口四束、半紙不殘參ル。鉄之助、御供方被仰付候由申来ル。田沢^ヲ米二俵取寄せ申候。代ハ先達^ニ收獲八九月頃迄定直段七斗一升也。

十一日 壬寅 陰時晴、夕ハツ^ヲ陰、七ツ頃少雨、忽休。夫^ハ陰斗。

大人、始兩人共在宿。兩人大方快ッ。西良仲^ニ菓取ニ遣ス。大人暑中故膏葉御こまり之由被仰遣候故、始^ニ引菓

參ル。一包也。元引菓一包、十公煎湯八帖、安兵衛煎湯八帖、膏葉大貝一。 本間弥右エ門来。

鶴侯少ッ御不快之由。尤評腫也。

十二日 癸卯 陰時少雨、或晴。夜陰晴。

大人御初不残在宿。元之助、此節ハ大方復常申候。尤引

菓ハ^{ハムシ}申候。大人^(二十)御吹出物同様也。外無事。

十三日 甲辰 快晴^{時少陰}、秋暑^夕少ツ、陰ル也。但し朝^ト甚涼氣。

大人御在宿。元之助同様、病後未出。尤頸之腫末^{ハムシ}と無

之。大人御吹出物同様。勘助、東海寺墓參。盆茶湯料三

百疋如例。少林院祐首座^ノ先月廿一日之世話有之候故

銀子少^ト被遣候。少林、白雲兩方之男共^ニ錢五拾銅

ッ、たはこ代遣し申候。妙解坊^ノと豊後之海蓋物^{モツ}尅重被

遣候。納所迄^{（ハシ）}□待かね味噲小ふた物ニ入遣し申候。海津

俊益方々今朝薬取ニ遣ス。五貼参申候。且外中元之祝儀

五百疋遣ス、薬之かず二百六十五ふく也。尤五百疋にて一服三分ツ、之積り也。但

シ海津も度々見参、其七、骨折申候故ト也。地主^{（十二）}也今日地代式兩三分拾匁五分遣シ申

候。長右ニ門方ヲ取ニ来ル。尤当月七夕前ニお願申候由

ニ而地主之手紙、長右ニ門持来ル。其わけハ借金之方之

儀ニ^{（ハシ）}被申候らへ共、一向此方出来不候故、昨日十

二日遣ス也。

十四日 乙巳 陰 時雨、終日終夜如此。昼後は雨多。

夜、遠火二度、此節度^{（ハシ）}

大人御始不残在宿。今日勘助東海寺^{（ハシ）}参、例年之通り、

御茶湯料三百疋^{（ハシ）}（九ツ）良仲^{（ハシ）}大人御引薬取ニ被遣

候。序ニ中元之祝儀遣ス。金子五百疋^{（ハシ）}薬二百十八小具中具十九小具

下谷^{（ハシ）}南鐮^{（ハシ）}沓片^{（ハシ）}おたみ殿世話ニ成候故也おたみ殿^{（ハシ）}沓片被遣候。夫

本行寺^{（ハシ）}例年之通り。南鐮^{（ハシ）}沓片被遣候。外無事。盆使

而已也。

十五日 丙午 南風烈敷微雨少斗 夜^{（ハシ）}始終大方雨 四ッ

谷邊遠火二度。中いなど二本。

中元之祝詞如例。山本鉄弥^{（ハシ）}交肴五尾来^{（ハシ）}中いなど二本。御

酒、素麵如例。御酒、吸物すまし。夕御酒 茶碗くすかたけ

御酒、吸物すまし。夕御酒 茶碗くすかたけ

鉢小一本 皿^{（ハシ）}小茄子丸蒸^{（ハシ）}。御酒、吸物すまし。

外無事。

十六日 丁未 陰^{（ハシ）}夕八ツ過南^{（ハシ）}少重、時降時曇、雷不逐。入夜少雨、

大人、御在宿。兩人同様。白銀^{（ハシ）}見^{（ハシ）}。青山秀五郎見

ニ。外無事。

十七日 戊申 晴 大人、所々残暑御見舞御勤。未御吹出物免^{（ハシ）}なし。先林

熊藏様^{（ハシ）}此間^{（ハシ）}大学頭様御家督無滞被蒙^{（ハシ）}仰候御祝ニ

御出被遊^{（ハシ）}當時家老比企伴、御用人沢五郎兵衛也。夫^{（ハシ）}鶴洲侯并世子^{（ハシ）}も残暑御見

舞。家中大方御廻^{（ハシ）}被成、熊本侯^{（ハシ）}戸田采女正様^{（ハシ）}も御

出。夫^{（ハシ）}向嘉右^{（ハシ）}門方^{（ハシ）}も御寄被成候。此^{（ハシ）}にて藏日麦出、

御酒杯も出、提灯御借^{（ハシ）}被成、御帰夜五ッ時少過也。

尤、林家ハ御留主故直ニ御帰^{（ハシ）}被成候由也。且、岩村侯

明日御發駕故、是も御晦乞御出被遊候。尤、家来」

(三十)仕度ハ相沢□安所ニ而御頼ミ之由也。林熊藏様ヲ干

鯛一箱樽代三百疋、高足白木臺にのせ使者參。阿強取

次、使者之口上之趣相認帰リ申候。右口上、當時学流も

違ヒ申候故御出も無之候。決而左様之事ニ無之、是迄預

御世話申候故、此度蒙^ツ仰^マ候事故以来共只今迄

之通り御懇意可申由也。略大人先方ハ御出、御留守ニ參

ル。長谷川君從此方用事申たて断遣シ申候。今日始而快

晴故衝服、道具等虫ほしはしめ申候。

十八日 乙酉 快晴^基西東北無雲僅雨、二粒降、夫又快晴。

大人御在宿。兩人同じ。今日書物、衣服之虫ほし。尤

書物ハ今日始而也。^ツ箱ハ大方干シ申候。青山^ト

秀、徹兩人見ニ、無事。白金^ト使来ル。歴史綱鑑八一本

帰ル。且大人此間叔見へ申候節、福田木工兵衛方ハ十七

日^ト始而御出可被遊御約之所、十七日用事御断。例月七

日ニ定日御定メ被成候故、一向廿七日ニ御出可被遊由、

丹助方迄御頼ミ被仰遣候所、餘リ延引故来ル廿二日、廿

三日之内御出可被下由申来ル故、廿二日夕方御出可被遊

由被仰遣候。丹助^ト叔へ之手紙為見ニ来ル所、如右手紙

返ス。能登鯖一頭大母君^ト御贈リ^{ハシ}。海津^ハ葉取ニ遣

ス^{元之助}之葉也。五貼来ル。夕方被見舞申候。大工儀平二方

善次兄弟子可參由、女房申候間^{ハシ}「^{ウシ}」可參由申

遣ス。儀平二可參由申遣ス所、湯治ニ參ル由故、

十九日 庚戌 快晴 秋暑不堪 土用之時氣^ト甚。夜遣火

一度、今朝善次參^{ハシ}

大人御在宿。兩人同シ。今日虫ほし。書物如昨日。外無

事。衣服之虫干如昨日。

二十日 辛亥 快晴如昨日、夜も暑甚し。

大人御在宿。兩人同じ。今朝、宇和世子^ト御断来ル。今

日^ト書物虫干等二度ツ、致し申候。尤、干場如此間、所

々空地ニほし申候。二度ニ五箱程ツ、也。衣服之虫干も

如昨日。東之藏普請ニ而取かた付申候。

廿一日 壬子 快晴 暑色不堪 夜同。

大人御在宿。兩人同し。書物虫干如昨日二度ッ、也。衣類も少々ほし申候。此節ハ虫ほしにて日夜拮据、早臥不堪。其上古藏普請仕度故猶更也。

廿二日 癸丑 同昨日

大人、臼杵世子ヲ白金福田木工兵衛方ヲ被為入候。尤、福田ハ今日始而也。此方ヲ人被召連送り人先ヲ出、夕七ツ時分ヲ御出、武藤ヲ御寄被成、夜九ツ時少過御帰宅。今日虫干等如昨日二度ッ、也。衣類ハ夜具等干シ申候。今日にて相濟申候。」
(二三十)

廿三日 甲寅 晴 暑色甚シ 土用中ヲ烈シ夜八ツ時、神明前表門火事。暫時之間也。

大人、岩村侯ヲ西臯世子ヲ被為入、夜五ツ時過御帰宅。勘助、坪井喜六方ヲ見參ハシ□□此間腹瀉致シ申候由。夫ニ付存シ申候医者無之、手療治故、此方近付、功者之医者頼ミ具申候様ニ申来故、良仲ヲ申遣。添手紙申候。尤、津田道齋も申遣ス。右之見舞也。西臯世子ヲ見舞ニ參ル。寒晒白玉之様ニ拵ヘ遣シ申候松葉小角重箱一重。夫ヲ糺町加賀屋、

銀子拂ニ參六十二匁六分三リン替。赤坂も參六十四匁書物虫干今日にて濟申候。土藏二階之方ハ先書物□□類大方濟、掛物、器物等ハ未也。海津ヲ藥取ニ遣ス。五貼来ル。

廿四日 乙卯 雨終日終夜也。夕七ツ時過南西之方、少し雷なり。

大人御在宿。兩人同シ。昨日ヲ今日迄、書物箱之しらべ、番付等致シ申候。尤書物之しらべ□□漸今日ニ而相濟申候。白金ヲ御出被成候。小田原熊沢屋金五郎方ヲ書物晋書二帙返ル。外ニ金一方添。

廿五日 丙辰 終日終夜雨 蒸暑今夕良仲盆之乍礼見舞□□

大人、尼崎世子昼九ツ時過ヲ被為入、夜九ツ時過御帰宅被成候。尤、熊吉様□□(二三十)元之助引込。勘助在宿。今日書物箱之かたつけ等□□終日土藏掃除。外無事。

今日ヲ元之助三里之灸事始メ申候。

廿六日 丁巳 終日雨 夜も大ニ曇 蒸暑不堪 尤昼ヲ少

大人御在宿。渡邊老侯御舍弟、小川町之松平正之亟殿ト

老侯御出被成候。急ぎ御出可被下候由申来ル。然ル所御

留主故其段申遣ス。又々人参り廿八日御繰替被成候而も

何□申参ル。然ル所浅草ヲ深川八丁堀等ハ御出故人遣シ

申候而も先方何れにて宜候や不知由申遣ス。元之助、浅田

ハ参ル。詩経講釈、絶句解今晚ハ始メ申候。勘助、柳世子

ハ参ル。海津俊益参ル。坪井喜六之腹瀉、津田道齋ハ頼

遣ス所、□□也。大病故屋敷ハ漸出斗故、様子次第にて

参りかぬる由申来ル故、海津ハ頼ミ遣尤明日なり。夫故今朝、

坪井ハ見舞候處、道齋参り居候最中ニ而薬用之由故帰ル

由、此方ハ来り申聞候。其中坪井ハも人参り海津ハ失礼

之段申来ル。快氣も□乍礼可参由申来ル。甚氣之毒也。

尤、今朝、安兵衛ハ西良仲ハ薬取ニ参ル故、参りかけ、

津田ハ断申候手紙遣ス。坪井ハも海津ニも頼ミ申候段申

遣ス所、間違申候。西良仲ハ薬取ニ遣ス。元之助、えり

之引薬之かわり、焼酒之水薬小キ德利ニもらひ申候。

尤、昨日約(三十)束也。安兵衛之薬十貼此間より膏薬休メ申候

而引くすり一貼もらひ来ル。元之助三里之灸九双いた

す。

廿七日 戊午 半晴半曇 蒸暑誠ニ酷烈不堪 當年中之暑

也。

大人、田町久留嶋侯ハ四ツ半少前頃ハ御出被成、夫ハ福

田木工兵衛ハ御出。夜九時御帰宅。つのはつより明廿八

日断ル。元之助来月二日可参由申遣ス。勘助兩人在宿。

今日にて書物其外之かたつけ先大躰濟申候、東之土藏普

請ニ付今日にて三日、土ヲはこひ申候。尤、大工方之古

ル土也。

廿八日 己未 陰晴夜遠火ハ八ツ半頃ハ大雨今日小田原飛脚参り宋書二咲、合廿四本かし

大人、七ツ時ハ渡邊老侯ハ被為入候。夜八ツ時御帰宅。

元之助在宿。勘助、西皇世子断来ル。夫ハ白賁ハ参ル。

祥雲寺ハ寄。大工善次来ル。東之土藏尺等取参ル。今日

土ハはこひしまい申候。海津ハ薬取ニ遣ス。五貼来ル。

今日ハ痰飲痼積之加減御濱ニ而狼火七本上申候。

廿九日 庚申 終日雨

大人、夕七ツ時ト龍土伊達世子ト被為入候。夜ト時御帰宅。元之助在宿。勘助、米津公ト參り申候。困熊藏ト様ト御看一籠ト御詩作一律御上ケ被入為候。夫ト「三十一」鶴洲疾ト「三十一」月三日之事、世子ト御聞合ニ被遣、且御病氣如聞之ト却申上候。元之助ト欽助トへ君侯御病氣内々尋候所、昨今ト御快ト方申来ル。外無事。書厨目錄出来。

八月建辛酉月宿直

朔日辛酉 晴

大人御在宿。八朔之嘉儀如例。外無事。

二日 壬戌 陰大方晴

今日ト讀書相始申候。大人、鳥居坂ト米津世子如例。元之助、つのはつ如例。勘助ト外無事。今日ト鷹の権右衛門ト土藏地形等可急由申遣ス。元之助、昨日ト升屋ト火事羽織出来之あつらへ申遣ス。

三日 癸亥 時々陰南風

讀書如例。大人、鶴世子、疾之御病氣ニ付断故、稻葉ト御出。會後御咄トつくり候由、先達而、頼ト故、世子前ニ御咄有之、夜九ツ時御帰宅。菓子も出申候。元之助在宿。「三十一」加茂數右衛門方断ル。序ニ大人御付ケ被成候字ト号トヲ遣し申候。勘助、小幡ト熊吉様ト參。八丁堀ニ而法事の帷子出申候。○大人、岩村侯ト鶴侯御病氣御見舞。夫ト稻葉也。

四日 丙子 雨入夜風雨、秋涼。

青山如例。今日ト始ル。落間大人御講積、公治長終章迄濟、夕會謹書。元之助出不申候。元之助は塚本、大野木如例。夜は風雨ニ而帰路難渋、八ツ時帰ル。勘助、京極世子ト米津世子如例。今日ト東之土藏トこわし始申候。鷹の権右ト門書とめ、外ニ一人參り申候。雨故半日也。舞岡之藤公被見申候。海津、菓取ニ遣ス。五貼来ル。

五日 乙丑 雨秋冷、夕むす。

讀書如例。大人、九鬼侯ト松平熊吉様ト御出被遊候。夜

九ツ時御帰宅。元之助、浅田侯に御名代参り申候。勘助、天眼寺に参り申候。今日土藏こわし、かつつけ申候。

六日 丙寅 晴涼氣甚ト也

讀書如例。大人、尼ヶ崎に被為入候。夜九ツ時御帰宅。

元之助、比ヶ谷牧野侯に御着後不参致参ル。夫々林熊蔵様を御祝ニ参ル麻上下始而也。夫々鶴世子に病中御見舞賜之礼并

侯之小納戸に御病氣御見舞。弥右エ門申ニハ昨夕大分

為宜敷(三十三)由也。且定右エ門、弥一郎兩人に病中見

舞之菓子之礼ニ参ル。勘助、在宿之所、柳世子に参ル。

土藏こわしの土はこひ申候。

七日 丁卯 晴秋涼、夜下谷邊兩度火事。早クきぬ。

讀書如例。旦那、田町久留嶋侯。夕七ツ前御帰宅。元之

助、勘助在宿。土藏之地形今日酒出ス。鈴木久五郎

奥殿用人、鈴木角右エ門仲也。二本入扇子箱持参。讀書入門。

八日 戊辰 朝曇り 昼雨 秋冷

讀書如例。大人、鳥羽世子に御出。尤御駕籠来伯太老侯如例。元

之助、京極世子に御出。尤御病後七月後始御出也。勘助

在宿。尤此節雀州侯御大病故、全体今日雀世子御定日之

処御断被成候。大工善次、蔦権并三人参。八ツ時雨故

罷帰申候。今日久平、龍戸に使ニ遣申候。尤、先日大人

御出之節御約ニ而先参候重箱をもすく一重、すし一

重、龍戸世子奉献致候。今日、遠山侯に交着七ツ投来致

候。左傳十三、経本十六、十七一本御借申候。神田勲八

郎、名前之手紙也。

九日 己巳 朝曇 時々晴 一体蒸氣 通人塗路泥濘

(三十四) 素讀休。青山如例。」

勘助、米津世子如例。今日、昨日之雨故地形水多泥ニ相

成候間、蔦四人不見申候。大工善次郎参。細工致候。土

こね壱人参候。瓦はこひ申候。此瓦は長坂邊ニ而拂物有

之候而二間ニ三間之土藏之瓦也。代金三分ニ相調申候。

尤蔦権右エ門尊にて大工善次郎、蔦共談合調申候。龍戸

より御手紙参り明日例は早く御出被下候様申来。

十日 甲午 朝曇 昼雨り出 秋氣蒸暖 夕晴 夜曇

讀書如例。大人、龍戸世子例より早く御出被成候。尤先より申来故也。家兄、小幡世子、柳生世子、病後初御出也。勘助在宅。今日久平、豊嶋屋と醬油取りニ遣申候。値段五百四十文也。干印。

十一日 辰未 朝曇 昼前より時々雨 夜迄曇 秋蒸或冷
二日 天氣不順

讀書休。宅講如例。七月休講後、今日より初マル。大人、白杵世子御故障にて御断来。元之助様、青木侯御出之所、先方故障ニ付御断参候。勘助在宅。東土藏請普ニ付石屋老人来ル。大工善次郎終日仕事。鳶二人来ル。(四ツ十)

十二日 朝曇 昼より晴 夕少々雨 夜快晴 (ハシ)

讀書如休。大人、京極世子如例。米津公子、無人ニ付御断。尤今晚家老側、大崎七与右エ門病死致候。右に付屋敷は會葬旁々無人也。○柳生世子の御出。夜五ツ時過御帰。尤久々ニ而柳生侯御逢被成候。元之助様、稲垣世子御断被成候。是ハ今日東土藏まへニ付職人の酒出、彼是

世話可致人無之キニ付御断被成候。勘助、天現寺如例。秀生同道。大工儀平次、此間温泉より帰り、今日参り地棟上ヶノ呪言致候。御造酒、御米備申候。大工二人、鳶三人、左官甚八一人参申候。尤、左官は其日は見繕ニ参り、今日之事ニ不関。吉とも一席中故酒一所ニ飲申候。酒二升、肴鯉老本。百五十文也。鰻二十、芋二升、麦蕎、此ハ内々酒ヲ不飲者に大工に談言ニ而申候。(五ツ)

十三日 終日晴 夕雲散離也 尤秋蒸

讀書如例。大人、夕方稲垣世子如例。尤雀洲侯世子、此節大事アル故御延引。元之助様、加茂数右門の御出被成候。尤七月以後始也。勘助、小幡世子急に御延讀。因而熊吉様参申候。柳生世子ハ昨日大人御出ニ付見合申候。大工一人、鳶一人参候。

十四日 終日曇 時々晴 秋蒸 夜晴月

讀書如例。大人、小幡世子如例。熊吉様御断。尤少々御風氣也。元之助様御在宅。夕方青木侯御出之所御断也。勘助、京極世子如例。米津様御断。大工老人参候。入普

請也。土こね老人參申候。

十五日 晴 夕雲出 夜明月 秋蒸 逼人

讀如例。大人、夕より長谷川君と御月見御招に付御出被成候。勤助同道。尤此間御断被參、例年之通不相替御家門御出被成候様申來。程々用事ニ而外者不參候。夜九（五ウ）時御帰宅也。

欄外
(光茂寔於竹素播徽声於重石直昼李彪傳)

今夕長谷川君御舍弟、御出家ニ被成、法獵積之上長崎春徳寺と住職被致候。一昨日江戸と御下被成、則長谷川君と御滞留也。因而此夕御逢被成候。舊談被成候。且廿二日御招申度願候。今夕、土産として垣積わらひ、絹たまき二重、もづく蓋物に入上申候。

十六日 快晴——夜くもり

讀休、大人、家兄青山如例。從此以後青山徂徠集休ニ相成候。漢書ノミ也。今日漢書御休也。勤助在宅。大工善次参り入普請也。

十七日 快晴 夕方曇

讀如例。大人、久留嶋侯と福田李大夫如例。夜四ッ時御帰宅。元之助様、夕方長谷川君如例。勤助在宅。今日

東（三才）土藏（ハカ）い□話致候。明日荒打之土付申候。白黄と茄子紫蘇実參申候。帚除も致候。○青山稲野とすゝき二本遣申候。是ハ先達續之助殿御供方に相成申候間、祝心進也。○大久保重助殿入門ニ付看來也。

十八日 終日曇 時々雨

讀書如例。大人、青山と御出被成候。是ハ今日堀成頭少輔殿御客ニ御出ニ付御招被成候。元之助様、京極世子如例。夕方麻田侯如例。勤助、天現寺如例。秀生同道。今日荒打相濟申候。酒出申候。肴ニ付昨日參候こち二本つゝきりニ致候て茄子入煮付出申候。別ニ芋二升出申候。酒三升入。尤調申候。尤、甚八初十一人參申候。甚八は別ニ臺所ニ而酒出申候。尤甚八一所ニ飲不申候間、如此取斗申候。

十九日 終日雨 秋冷倍常

讀書休。大人、家兄青山如例。漢書御會無之。勤助

(アキ)

二十日 終日雨 秋冷

讀書如例。大人、龍戸世子如例。元之助様、小幡世子如

例。〔六ウ〕

(三十七オ・ウ 白紙)

二十七日 八月也 秋晴 朝夕涼甚

讀書如例。大人、松平大膳之介殿如例。夜九ツ時御歸

宅。是ハ廿五日也、誤記。大人、青木ハ被仰遣候所断也。米津侯ハ用

事有之由、定日故御出被下候様被致度旨之由、播摩守申

付候段申来ル是ハ久々御出動無之、當時殿中御不案内故、柳侯御頼被成度、夫ニ付大人ハ御頼被成度由也。太母君、

勘助、舞岡ニ被為入候。妙年様百疋、藤公へ南鐙一片、

内儀ニ同様、子供衆ハ白粉油口兩人也。三次ニ御出懸

之駕籠代ハ表メ八百文也。朝夕之飯ト酒ト此方ニテ致テ也。元之助在宿。長谷川

様は大人ハ手紙被遣、此節善徳寺和尚出府故、晦日ニか

へて御出被成度由なり。尤此段以使被仰遣候。

二十八日 秋晴涼甚、暮六ツ時地震。

讀書如例。大人、柳侯ハ被為入候所、御留主也。是ハ昨日米津侯之御頼也。

夫ハ世子之讀書有之候、而渡邊老侯ハ被為入、夜八ツツ

御帰宅。元之助、京極世子如例。今日ハ論語始マ

ル。外無事。

廿九日 曇 〔ウ三〕

青山延引、昨日申来ル。大人御在宿。元之助、柳侯之御

返事被聞合、世子之御讀書ニ參ル。鳶之権左エ門ハ此間

瓦之みがき手間之一人前式百廿四文取ニ来ル。直ニ渡

ス請取有。屋代文左エ門ハ鳥応之六枚物真偽為見ニ遣

ス。〔オ四〕

〔九月カ〕

二十一日 終日曇 入夜大風雨 夜半休

御講釈如例。杜律無ッ。御詩盟主人ハ加藤左源次也。尚

十二、三人御見申候。詩題、雨中秋望、宿題養老泉。

廿二日 朝ハ昼迄曇 時晴又曇 夕南風 雜雨 入夜嵐

讀書如例。大人、京極世子如例。米津様御断。〔オ三〕

同廿五 (三十八ウ三十九オ 白紙)

〔十月〕

十月十九日 終日晴 小春気候

讀書休。今日、青山御故障ニ付御休。御兩人共御出無

之。今日、加藤左源次子騰、同舎弟、林定次郎子孝、同

藩岸田九十九、土方三人兼て約束ニ付白貴と御同伴被成

候。元、勘兩人同道。酒肴携參申候。尤先方よりも酒老

樽、□老重持參致候。大工善次郎、昨日迄東土藏請受細

工所濟、今日より入普請、戸前口の敷木、窓敷木細工致

申候。

同廿日 終日風吹 寒冷 逼人

讀書如例。大人、小幡世子と御出被成候。但シ十四日例

月定日之所、東海寺中高徳院と実詣尊者伴ニ而御出被成

候。尤先達より高徳院主宗尊者繁茂也久々打絶御目に不懸

候故、詩作致旁々招度旨ニ而御出被成候。元、勘兩人倍

從。夜九ツ時過帰宅。大工善次郎(三ツ)細工ニ參申候。

左官參申候。是ハ請受細工ニ

同廿一日 終日曇 甚寒冷

讀書休。御講釈左傳和本ニ而十一、十二之巻をねり、今

日詩會ニ付杜律すこし、今日より妙解院小僧衆二人、常

惠院小僧衆老人講釈參申候。今日詩會、大久保加賀守様

御家中、岡田縫藏殿宅ニ而相催申候。尤、同藩中、内

海春随老、竹田見寿老二人、同日主人ヲ致申候。相見申

候。席上、冬日蜂文亭集。宿題、哭子人春。フキヤン大工

善次郎、細工ニ參申候。左官甚ハ請受細工ニ參。

同廿二日 朝曇 昼以後雨 冷温交至

讀書如例。大人、京極世子如例。稲葉世子如例。米津世

子、勘助名代ニ可參所俄ニ腹痛ニ付断遣申候。元之助、

稲葉世子御屋敷御普請ニ付御断。風雨故、本多千五郎殿

おも御出不被成候。勘助在宅。大工善次郎不參。

同廿三日 朝曇 四ツ時過 晴 一天無雲 夕西風つよ

讀書如例。大人、岩村侯如例。夕方、昨日之代りニ米津世子ハ御出被成候。元之助様、小幡世子御出。其ノ柳世子少、御不快ニ付御見舞ニ御出被成候。尤、小幡世子、勘助常(ムシ)所、此ノ前御不参ニ付勘助廿六日ニ致シ、今日元之助様御出被成候。勘助、松平熊吉様御風氣ニ付御断参申候。在宅。大工善次郎不参。白責よりつけ菜持来ル。蕎麦一斗一升参り候。

同廿四日 晴 昨夕温氣。昼過より西風つよし。入夜不
止

讀書如例。青山如例。勘助、京極世子、米津世子如例。大工善次郎不参。今朝一寸参、無扨仕事不参。明日より参可申候とて道具箱持帰申候。左官甚ハ請受普請ニ参申候。昨日、大野木代次見(ムシ)兼、学問好(ムシ)赤羽(ウツ)ニ参(ウツ)度頼相叶、今日稽古ニ参申候。

同廿五日 晴 暖氣。西北風つよく夕寒冷
讀書如例。大人、尼崎世子如例。松熊吉様御断。尤御風

氣之由也。元之助、加茂数右ニ門殿如例。勘助在宅。大工善次郎参申候。大豆沓俵取りニ遣シ参申候。但、當年ハ米津様御家中、笹原和助殿ト申仁(ムシ)頼、拂物調申候。兩ニ沓石沓斗四升之相場ニ御坐候。夕七ツ時過池端かや丁辺(ムシ)出火。廿六日朝四ツ時頃迄燒、四時過火鎮申候。

同廿六日 曇 四ツ時過雨出。夕曇 寒冷

讀書如例。大人御在宅。元之助様御同様。勘助、昨日之火事見舞ニ出申候。柳原市橋様ハ細川長門守様、藤堂和泉守様、下谷元地主深谷茂十郎、谷文五郎、武田三右エ門様、御成小路中、石川日向守様、日本橋小林新兵衛、皆々見舞申候。大工善次郎参候。左官老人請受細工致シ候。安原、柳原、細川様御奥(ウツ)使ニ遣申候。尤、久平疝氣、臨時ニ臥申候。

同廿七日 朝雨 昼晴 寒冷

讀書如例。大人、米津公子ハ福田大夫如例。元之助様、長谷川丹後守様如例。此次より七ノ日差間故、臨時ノ約日ニ致申候。勘助在宅。大工善次郎参候。大豆式斗取リ

ニ遣。代式分百□^(ハシ)文遣也。

同廿八日 晴 西北風つよく甚寒冷

讀書如例。大人、稻垣世子御断。渡邊老侯如例。元之助

様、京極世子如例。勘助在宅。大工善次郎参候。

同廿九日 晴 西北風つよく甚寒冷 薄氷はり

讀書休。大野木代次見へ稽古致候。大人、稻葉世子御出

被成候。元之助御在宅。勘助、米津公子如例。今日、凶

能師見ニ。京都の六年以前ニ参、當冬始メテ帰江致候。

尤、先達而大養寺一変之節、凶能師道具、長持一ツ、簞

笥^(四十)重^(ウ)書物箱十三預リ申候を不残取りニ参、遣

申候。尤、内書物箱四ツ、隣家松岡平次郎方へ預置、明

日出置候間取りニ可遣様申候間、未預置候。凶能、京都

土産ニ更沙風呂敷二ツ、扇子二本持参致候。大工善次郎

参候。今日、地主方へ金子耆兩式分、無據入用故借用致

度旨申来候。則地主守長右エ門取次也。彼は申先耆兩借遣

申候。米津候へ御指持米三斗参候。門前小路霜とけ、例

年々寒冷甚シ。

朔日 終日曇 寒冷甚

讀書休。御講釈如例。大人、龍戸宇和世子如例。尤、廿

九日、元之助様御出之所、先月廿日実兄御出ニ付昨日之

所を今日ニ相延大人御出被成候。家兄御在宅。勘助、川

関太次右エ門^(四十)殿を吊ニ参申候。但、恵照院殿、

去廿六日死去被致候故也。恵照院殿は下谷武田随器様御

妹也。青山おらん様、先、太次右エ門殿養女として稲野

氏を御片付被成候。右之鈞相也。大工善次郎参申候。藏

のしたみ致候ニ付手傳老人向行厨ニて参申候。善次を耆

分借シ遣申候。青山へ人参候ニ付臆中^(恵照院殿故)見舞心ニ

まんじう十五被遣候。下男米志らげ^(キマ)松平和泉守様

御家督御礼ニ御登城被成候為知之手紙参候。

同二日 晴少曇 尤風無暖也

讀書如例。大人、御風氣ニ付京極世子、米津世子如例。

家兄、稻垣世子へ本多千五郎殿如例。勘助在宅。今日、

藏之諸道具、東之藏新ニ出来ニ付引移シ申候。大工善

次(一)申候。今日、暫無據細工ニ付断、不參候。

同三日 晴 風 朝夕寒冷 屋上之霜如雪

讀書如例。大人、岩村侯如例。夕方、林熊藏殿の御出被成候。但餘り暫御出無之候ニ付今日御出成被候。甚御丁噲(ム)御取斗ニ熊藏殿御統上下ニ而敷木の外ニ出向被申候。御帰之節は御玄關迄被送候。大工善次郎不參。鳶老人參、東側之籬をこしらえニ參申候。家兄御在宅。勘助、小幡世子、風氣ニ付御断被成、松平熊吉様の參申候。

同四日 晴 風靜 霜日甚暄也

讀書休。大人、家兄、青山如例。今日、大野木代次、漢書、御會讀ニ罷出候様被申付候との噂御坐候。勘助、京極世子の米津公子如例。米津ニ而詩經講致候。今日は鳶十太宅の被請參候。

同五日 晴 屋上白霜全欺雪 昼無風甚暖也

讀書如例。今日、戸田徳藏久ニ而相見、亦、稽古相始

度申候。(二)大人、尼崎世子如例。元之助様、加茂數

右エ門殿の長谷川丹後守様如例。勘助在宅。今日、岩崎

権右エ門殿相見、白銀屋敷目付被申付候。今日、天徳寺

の參詣致し候間、一寸御尋申候とて相見申候。鳶老人相

見申候。東側之籬今日ニ而相濟申候。代料都合三日之分

六百七十二文遣申候。夜中兩三度出火。早く消申候。

同六日 晴 西南風つよく朝夕甚寒

讀書如例。大人、松平熊吉様、御代日ニ御出被成候處、亦、急ニ御断參候。終日御在宅。元之助様、勘助、今日溝口權藏、沖村三千郎殿兩人之振舞ニ而品川海晏寺の參。其より三家屋平右エ門と申茶屋の寄、終日歛樂致候。今日、すいふろたて申候。

同七日 晴 西北風つよし 昼後夕甚寒

讀書如例。大人、米津公子、福田大夫如例。元之助様御在宅。勘助、小幡世子先日の之代日ニ今日參申候。帰

掛(三)柳生世子御病氣ノ御見舞ニ參申候。最早段、

御全快之御容躰也。亦本多平右エ門殿方の無沙汰見舞、

同十一日 雨 寒冷 適時昼晴、晚甚寒 夜月如(ムシ)

讀書御休。講釈如例。今日又、東海寺内清光院之僧老

人、入門ニ被頼候。昨日金毘羅ニ參詣致候節、もちの木

老本、かし五本調申候。尤、六本ニ而七百文、勤助自錢

ニ而調申候。今日植申候。大人、白杵世子御延引御在

宅。元、勘同様。

同十二日 晴 西北風強甚寒 霜白於雪

讀書如例。大人、九鬼長門守様ヲ米津公子如例。尤、

九鬼様當八月ノ傳奏御用御勤被成、其以後初メテ御出有

之。元之助様、稻垣世子、且本多千五郎殿如例。勤助、白

銀小太郎様ニ御宅轉後初メテ參申候。但、當十五日おし

ゆん(五才) ほう七歳之祝ニテ金百疋被贈候。今日持參

仕候。夜五ツ時過ノ藪下邊出火。但飛火ニ而麻布新丁ノ

焼出、樹木谷ニ而消留申候。白金小太郎様御方、風筋甚

あしく御坐候。元之助様御出被成、大働ニテ夜九ツ時半

過御帰宅被成候。勤助、火事消後處ニ見舞ニ出申候。

八ツ時歸り申候。青山ノ秀五郎殿被見候。宇田川丁つや

宿ノ人參候。嵩山房ノ人參候。風筋宜故皆、先歸申候。

四ツ時半過、九ツ時前火事焼納申候。

同十三日 晴 時々曇 甚うわ寒

今朝昨夜火事騒動ニ付讀書相休申候。大野木代次殿見へ少

々漢書讀被返候。大人、深川小新次様ニ御出之處、昨日

御斷參候。元之助様御在宿。勤助、小幡並熊吉様御斷申

上候。尤、昨日之火事ニ付紛冗之故也。十公ノ赤飯来

ル。此ハおよしほう七歳之祝ニ付来也。花すそ(五才)

模様ノ小袖壹ツ被遣候。おはく様、まげゆい被遣候。元

様、こまけた老足被遣候。勤殿、かんざし遣申候。

同十四日 晴 風なし 甚暖 朝暮寒甚 有霜

讀書如例。大人小幡疾ノ熊吉様如例。但、熊吉様十五日

御定日之所、今日御代被成候。元之助御宅。勤助、京極

世子御風氣ニ付御斷也。米津公子明日ニ致度、申遣候

所、十八日頃、俟御帰府ニ付御斷之趣申来也。今日西之

藏之大片付致候。左官老人參、戸前口塗申候。

同十五日 朝曇り 雪之天氣相也 昼々晴 夕又々有雪

讀書如例。大人御在宅。尼崎御断參申候。元之助様御在宅。勘助同様。今日、昨日之餘り、藏掃除、夕方漸く相濟申候。今日、裏のおよしほう七歳之祝ニ付家内不殘被呼、酒、吸物出申候。尤、大人初皆、御出被成候。但、下男女、安兵衛、阿強共參。左官老人參仕事致候。白銀お俊ほう七歳之祝ニ付赤飯參申候。尤、金百疋被遣候。大野木代次殿、漢書讀ミ見申候。○志村又右ニ門殿被參候。是、八日光ニ而勘助逢申候仁也。」

(四十)

同十六日 朝曇 昼晴 夕雪天甚寒 無風

讀書休。大人、家兄青山如例。勘助在宅。薦老人參、裏

(六ウ)

(四十七オ)~五十ウ 白紙

(担当 鎌倉 喜久恵)

春 紀 日 誌 三